

とぎつちょう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ていがくねん む はるごう
低学年向け 2023年 春号



発行：とぎつちょうりつとぎつとしよかん

うちどく 家読とは

かぞく す ほん よ ほん
家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。むずが 難しいルールは いりません。かぞく みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

かぞく おな ほん よ
家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



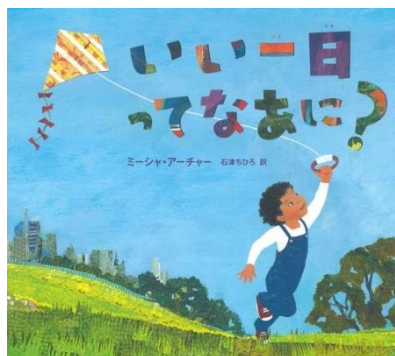
「りこうな子ども アジアの昔話」
松岡 享子/編 訳 下田 昌克/絵
(こぐま社)

インドネシアの島で、ある日、男の子が人さらいの男にさらわれてしまいました。でも、かっこいい男の子は、おなかがいたいフリをして、人さらいの男にお話しをしてくれとたのみました。そして…。アジアにつたわるおもしろい昔話が3つ楽しめます。



「にだんべっど」
齊藤 倫/作 うきまる/作 五十嵐 大介/絵
(あかね書房)

おにいちゃんとわたしは、にだんべっどでねている。おにいちゃんが上で、わたしが下。あるよる、にだんべっどでねようとしていたら…。わたしたちは、いつのまにかゆうれいの国に、まよいこんでいた！
また、ちがう夜には、ジャングルやほっきよくにちやうし…たいへんだあ！



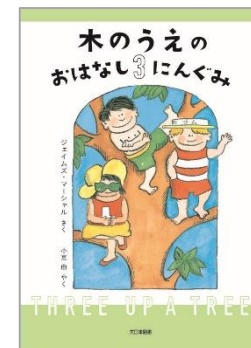
「いい一日ってなあに？」
ミーシャ・アーチャー/作 石津 ちひろ/訳
(BL 出版)

ダニエルは、みんなに「いい一日を！」と声をかけられます。「いい一日って、なんだろう？」ダニエルは、いろんな人にたずねてみました。庭仕事をしている人、ケーキ屋さん、ダニエルのおばあちゃん。すると、それぞれみんな「いい一日」はちがってました。



「はがぬけたらどうするの？」
せかいのこどもたちのはなし
セルビー・ピーラー/文 ブライアン・カラス/絵 こだま ともこ/訳 石川 烈/監修 (フレーベル館)

みんなは、歯がぬけたとき「上の歯なら縁の下、下の歯なら屋根の上になげなさい」って言われたことはないかな？
世界の子どもたちは、ぬけた歯をどうしているんだろう？
歯のことがいろいろわかる絵本です！



「木のうえのおはなし3 にんぐみ」
ジェームズ・マーシャル/作 小宮 由/訳
(大日本図書)

ある日、サムとスパイダーはツリーハウスを作りました。いつもの3にんぐみのひとり、ローリーだけはのぼらせてもらえません。そこでローリーは「たのしいおはなしを知っている」と言い出しました。その話を聞きたくなった二人は…。
短い楽しいお話なので、家族で読み合いっこしてもおもしろそう♪



「かさぶたってどんなぶた」
小池 昌代/編 スズキ コージ/画 (あかね書房)

いろんな詩人が作った、ふしぎで楽しい詩がたくさんあっています。みんなもよく知っている「おならうた」など、思わずわらってしまう詩もありますよ。スズキコージさんの絵も、楽しくて夢中になっちゃう！
国語の教科書にも紹介されている本です。